2018.10
Vol.024

ますな

公益社団法人　つくば市シルバー人材センター

働きませんか，健康で，たのしく

特集　宇都宮新理事長にインタビュー

センターの未来を担う新組織体制

まつりつくば２０１８

〈宇都宮新理事長インタビュー〉
責任と情報公開

本年6月のつくば市シルバー人材センター（以下「センター」という。）の新理事長に就任された宇都宮章氏に、これからのセンターはどうあるべきかについてお伺いしました。

【センターに関わってきた経緯】

現役時代は建設分野の営業を長年経験したあと独立し、会社経営に携わりました。神奈川県川崎市より第二の人生の場として、平成23年3月の東日本大震災より2週間前、このつくばの街に移住しました。来たばかりは右も左もわからない状態でしたので、大変苦労した記憶が残っています。

H24年「事務局だより」で環境美化作業の案内があり、それに採用され就業したのがセンターに関わる最初でした。地区活動にも積極的に加わり、その頃あった親睦会にも参加させていただき、それは今でも続いています。センターに入ることで、知り合いの少ない土地での仲間作りが出来て楽しんでいます。

地区活動を通じて地区長を担当し、総務部会にも参加して、H28年理事に就任し、その年新しい部会として起ち上がった地区統括部会長として活動を始めました。H30年6月総会後第一回臨時理事会において理事長に選任され、就任いたしました。

【センター運営上で心がけたいことは】

会社経営で培った貴重な経験を、センター運営に役立てることができればと思っています。また会員がセンターの仕事やセンターに関する情報などを公平に共有できるように、ベストをつくすつもりです。

【理事長就任後に気づいたことは】

理事長職の責任の重さを痛感しています。センターの運営責任者は理事全員であり、何か事があれば理事全員にその責任が降りかかりますが、その最終責任者が理事長という事になります。センターの運営の難しさは、民間企業のように上意下達の組織ではなく、基本理念である『自主・自立・共働・共助』を認識して、全会員による総意をはかりながら組織を運営していかなければならず、理事会がその重要な役目を担っているのです。その責任は先に述べた通りです。更に重要な部門が事務局です。センターの柱と言っても過言ではありません。全会員との接触部門です。理事長になって事務局内にいる時間が多くなりましたが、スタッフの皆さんは非常によく仕事をされていることに感謝しています。少し要望もありますが後述します。

【会員に対して実行したいことは】

（1）情報の公開～理事会、部会、委員会での決定事項をみなさんに知らせること。

（2）会員間の親睦を図りたいこと。

【事務局のあり方について】

・失敗を恐れず、前向きに仕事を進めてください。

・工夫すればできる可能性があるという考えで仕事をしていただきたい。

仕事面で、法律とか技術などで難問が生じても、実情を調査分析して、対策を講じる工夫をお願いします。

理事長として事務局内にいるようになったら、さまざまな状況がわかるよ

（注）きずなの中では「つくば市シルバー人材センター」を「センター」と称する場合があります。

うになりました。皆さんも責任をもち、これからも全会員と共に仕事を進めて行って下さい。

【情報公開や情報の速やかな伝達方法について】

最近TV局が当センターの『自転車や子育て事業』に取材がありTV放映されましたが、急な話だったため、会員のみなさんには十分にお伝えできませんでした。「お知らせ」の方法については、ホームページや広報誌「きずな」、「事務局だより」がありますが、現在情報公開に向けて発信方法を協議中です。

【重要課題その一～就業対策】

就業開拓委員会を理事会直轄で運用し、理事全員に委員をお願いしました。

当面、未就業者問題としてきめの細かい対策を検討して、未就業者の方々を根気よくフォローしていけるように心がけたいと思います。同時に今まで通り、既存顧客へのシェアーアップ対策、新規顧客へのアタックも決して忘れることはありません。

【重要課題その二～女性会員の増加】

重要課題として、有効な対策を現女性会員とともに検討して行きたいと思います。

9月中には小物作りなどに使用できるよう大穂庁舎内の一室を整えます。市内小学校に無料配布する給食袋や祭りつくばなどバザー品の作成、将来的に一般販売できる位のものを念頭におき活動場所として活用願いたいと考えます。『女性のつどい』などの講演も計画にあり、大いにPRしていきたいと考えています。

【地域活動の一環であるボランティアについて】

アダプト・ア・パーク活動は、センターの基本活動の一つです。みなさんもぜひご参加ください。

【独自事業について】

自転車と子育て事業はいずれも大切な独自事業なので、これからも頑張っていただきたいし、センターとしてもでき得る限りの支援を行う考えです。

猛暑と草刈り

広報委員会

今年9月中旬過ぎ、市内の茎崎地区の住宅街に、センターの草刈り班の人たちが作業している姿がありました。作業中の班のリーダーによれば、今年はあまりにも猛暑の日々が続き、慎重を期して事故予防と熱中症対策に手を打っていたので、幸いなことに大きな事故は起きませんでした。作業スケジュールに遅れが生じたものの、やっと今、作業のピッチを上げているところだそうです。草刈りや剪定の作業は、シルバーにとって定番と言える仕事ですが、暑さは大敵です。

正常な気象と異常気象の区別がつきにくくなってきたように感じられる昨今。とはいえ、今夏の暑さはやはり異常というべきで、センターの「事務局だより」でも会員に対して、熱中症に対する注意喚起と必要な対策の指示を出しています。

〈やまびこ〉

広報誌「きずな」はセンターの機関誌としての役割に立ち返り、読書層を従来の一般市民だけでなく会員にも向けて、センター運営の中枢機能を担う理事会とそれを支える各部会、委員会などの各組織と事務局、会員の活動をご報告します。

平成30年度運営及び事務局体制

理事11名　　監事２名　　**中島　肇**　　**金子和雄**

宇都宮　章	理事長		理事会　事務局：担当　長谷川　　副　柴沼
蛭田　　遼	副理事長		－就業開拓委員会11名　　委員長　宇都宮章（理事長） 副委員長　蛭田遼（副理事長）全理事 －就業適正委員会（副理事長・各部会長・各地区長） －理事・監事候補者選考委員会 －懲戒審査委員会（副理事長・各部会長）
尾台　昌治 **坂入　茂男** **原山　保春**	総務部会長 総務部副会長 総務部会	広報委員長 事業部会・筑波地区長	総務部会員９名　事務局：担当　長谷川　　副　柴沼 会長　尾台昌治　副会長　坂入茂男　書記　川上誠 部会員　太田栄一・橘博幸・大寺顕治・深谷淳一・山内衛 －広報委員会　４名　事務局：担当　長谷川　　副　柴沼 委員長　尾台昌治・副委員長　山内衛・書記　川上誠 委員　金丸博文（ホームページ担当）
細渕　賢三 **里信　隆義** **成島　和子** **坂入　茂男**	事業部会会長 事業部会副会長 事業部会員 事業部会員	安全委員会副委員長 安全委員会・ランク審査委員長 女性活躍委員長	事業部会会員９名　事務局：担当　澤田　　副　柴沼 会長　細渕賢三・副会長　里信隆義・書記　清水英一 部会員　武井義・高島一美・郡司昇・田中孝紀 －女性活躍委員会７名　事務局：担当　長谷川　　副　柴沼 委員長　成島和子・副委員長　小倉武子 書記　木田輝子・書記副　山口眞知子 委員　飯塚弘子・本山和枝・横溝榮子 －安全委員会９名　事務局：担当　藤澤 委員長　青木亨司・副委員長　細渕賢三・ 書記　薬師寺晴美　　副書記　吉田繁 委員　小林康彦・塚本茂雄・岡田正男・飯村成就 －ランク審査委員会11名　事務局：担当　中根 委員長　里信隆義・副委員長　中島肇・副委員長　坂井勇夫 委員　梅田三郎・小林康彦・岩田光夫・吉川友信・池田士朗・ 酒寄安雄・斎藤信一・江戸寛
太田　定夫 **青木　享司** **岩田　光夫**	地区統括部会長 地区統括部員 地区統括部員	安全委員長	地区統括部会員10名　事務局：担当　長谷川　　副 澤田 部会長　太田定夫・副部会長　礒部隆秀（茎崎地区長） 書記　小杉晴彦（谷田部副区長）・吉村利雄（大穂地区長） 田中孝紀（谷田部地区長）・土田禎太郎（豊里副地区長） 伊藤有紀（桜副地区長）・江戸寛（筑波地区会計） －地区委員会18名（地区統括部会員７名含む） 大穂地区　　吉村利雄（地区長）・沖山豊（副地区長）・ 木田輝子（会計） 豊里地区　　岡野輝夫（地区長）・土田禎太郎（副地区長）・ 青木家光（会計） 谷田部地区　　田中孝紀（地区長）・小杉晴彦（副地区長）・ 星田きみ子（会計） 桜地区　　加地浩成（地区長）・伊藤有紀（副地区長）・ 小倉輝子（会計） 筑波地区　　坂入茂男（地区長）・小倉武子（副地区長）・ 江戸寛（地区会計） 茎崎地区　　礒部隆秀（茎崎地区長）・稲葉宣夫（副地区長）・ 高島一美（会計）
事務局体制			
事務局長	**矢口　正男**	総括	
総務係			
係長	**長谷川伸之**	担当：総務部会・広報委員会・女性活躍委員会・地区統括部会・派遣事業 有料職業紹介事業・就業適正委員会・理事・監事候補選考委員会	
	菊地　慶子	担当：経理	
業務係			
係長心得	**柴沼　由佳**	担当：就業開拓委員会・リフォーム事業・すけっとくん事業	
	澤田　裕美	担当：事業部会　　桜地区・茎崎地区・派遣事業	
	中根　裕子	担当：ランク審査委員会・公共事業・大穂地区・豊里地区・独自事業・事務局だより	
	藤澤富美江	担当：安全委員会・谷田部地区・筑波地区	

〈リーダーは語る〉

総務部会

総務部会長　尾台昌治

平成最終年度にあたり、シルバー人材センターの設立目的、基本理念を基本にこれまで総務部会が培ってきた活動を踏襲し、総会で承認された以下の活動方針を推進いたします。

(1)経営健全化対策
(2)就業開拓および適正就業の推進
(3)規則、規程類の見直し
(4)各種研修会、講習会の開催

10名の部会員で課題によっては分科会で外部の意見を聞きながら推進いたします。

また、組織改編により今年度から広報委員会を管掌することになりました。広報委員会と連絡を密にして広報活動を活性化するとともに会員の皆さまに愛される広報誌「きずな」の発刊に努力いたします。皆さまのご協力をお願いいたします。

事業部会

事業部会長　細淵賢三

平成30年度定期総会において新役員に選出していただき早くも2カ月が経過いたしました。

事業部会では会員の就業機会の拡大や適正就業について鋭意検討を進めておりますが、課題解決には会員の皆さまの就業、各種行事への積極的参加が何よりも重要と感じております

これからますます少子高齢化が進む中で、シルバー人材センターの地域における役割は大変重要であり、会員の総力で期待に応えられるよう事業を展開したいと思いますので、引き続き皆さまのご協力よろしくお願いいたします。

地区統括部

地区統括部会長　太田定夫

会員の皆さまには日頃より様々な地域活動に参加して頂きありがとうございます。地域の会員の意見はシルバーにとって重要な情報の源であり、シルバーの発展や問題の解決に不可欠です。6地区の役員と一体になって地域の活動に取り組み、皆さまの意見を聞き、それらの意見がシルバーの運営や改善に反映するようにしたいと考えております。ご協力とご支援をお願い致します。

新しい事務体制

事務局長　矢口正男

平成30年事務局長に任じられました。この間事務局においては、新たに2名の職員を採用して職員4名、嘱託職員2名、臨時職員1名の体制で担当業務等の見直しを行い今日に至っております。今後もこのチームで会員の皆さまをサポートしてまいりますので、よろしくご指導、ご協力の程をお願い致します。

《お知らせ》

●第2回女性のつどい開催

開催場所　大穂交流センター2階研修室
開催時間　11月28日（水）13時30分～
講演タイトル『これからの人生・・・』
講師　小倉洋子 氏

●第1回安全就業対策講習会開催

開催場所　大穂交流センター2階視聴覚室
開催時間　11月30日（金）10時～
講演タイトル『（仮称）事故防止対策』
講師
（一社）日本労働安全衛生コンサルタント会
茨城支部　佐々木哲美 氏

今年も盛況でした！

まつりつくば2018

女性活躍委員長　成島和子

役員になって初めてのイベントが〝まつりつくば〟でした。

例年、手作り作品（布草履他）バザー用品販売していましたが、今年は野菜類も出してみてはとの声があり、許可を頂きスイカ等12～13種類の野菜を販売したところ大好評でした。五十嵐市長にもスイカ、布草履を購入していただき、センターとしてアピール出来たかなと思います。

来年も皆様方のご協力を頂きシルバー人材をアピールしていきたいと思います。参加して頂いた方々、本当におつかれ様でした。

※小物作りは月2回集まり作っています。御協力頂ける方はよろしくお願いします。

広報委員長　尾台昌治

自転車の販売、修理の相談に対応する自転車事業部の皆さん、暑さに負けず元気に頑張っておりました。通常の仕事も順調なようです。

科学実験体験スライム、今年も子供たちに大人気で長い行列ができていました。出展するためには事前にいろいろな準備が必要で加地会員の協力に感謝いたします。女性活躍委員会として例年手作り品（布草履他）をバザー用品として販売してきましたが、今年はこの他にスイカ、ナス、トマトなど13種類の野菜を販売しました。非常に好

売り切れ続出の野菜やスイカ

子ども用から大人用まで根強い人気のリサイクル自転車

定番のお遊び！スーパーボールすくい

なぜ？楽しい理科実験！子どもたちの行列ができるスライムコントロール

評で五十嵐市長にもスイカと草履を購入していただき、女性活躍委員会をアピールできたと思います。

事務局一同

今年もまつりつくばに参加させていただきました。今年は、例年のヨーヨー釣りとスーパーボールすくい、スライム実験、手作り小物及びリサイクル自転車の販売に加え、バザーの中で野菜販売にチャレンジしました。

子ども向けのイベントは相変わらず大人気で、小さな子どもたちの行列ができていました。また、野菜の販売も早々と完売するほど、大好評でした。例年にない暑さの中、イベントやチラシ配りのお手伝いをしてくださいました会員のみなさまのご協力に感謝いたします。ありがとうございました。

食改に想う

豊里地区副地区長　土田禎太郎

9月9日（日）豊里交流センターで『元気で楽しく仕事を』をモットーにしたシルバー料理教室を開催し、12名の豊里地区のシルバー人材センター会員が参加しました。

まず、つくば市健康増進課所属栄養士による「低栄養予防について」との話がありました。引き続いてつくば市食生活改善推進委員協議会指導員3名のもとで、高齢者の低栄養を予防するためのシルバー料理教室を開き、3班に分かれて麦ごはんとおかず3品（厚揚げの肉巻き、チキンとパプリカのマリネ、レタスのスープ）を作りました。自作の栄養満点で健康的なおいしい料理を食べ、皆さんは御満悦のようでした。

3月に今回のような催しを開き、シルバー豊里地区を一層活性化させたいと思っています。

料理は女性だけとは限りません。奮闘中の男性陣

〈被災者のみなさまへ〉

近年は台風、地震、水害という大きな自然災害が多発しています。近くは大阪北部の地震、台風21号・24号、それに9月6日にはM7大地震が北海道で発生しました。被災者の方々に心よりお見舞いを申し上げるとともに、一日も早い復興をお祈り申し上げます。

ご案内

入会説明会は次の通り行います。入会を希望される方は直接会場にお越し下さい。

お問い合わせは、電話で受け付けております。ホームページにも掲載しております。

開催月日	時間	会場
11月８日（木）	午後１時30分	大穂庁舎
12月６日（木）		茎崎交流センター
12月７日（金）		豊里交流センター
12月13日（木）		大穂庁舎
１月10日（木）		大穂庁舎
２月７日（木）		筑波交流センター
２月14日（木）		大穂庁舎

「きずな」の由来

東日本大震災の翌年２０１２年４月１日の社団法人から公益社団法人移行に伴い、広報誌「シルバーニュース」から「きずな」に名称を変更されました。同じ年の８月に発行された「きずな」の創刊号の編集後記に「昨年の東日本大震災での経験を忘れることなく、人としての生き方で最も大切な交わりをいまいちど思い起こし永遠に後世に繋げるとの思いで『きずな』と改題しました。」と記述されております。シルバー人材センターも会員と会員の繋がりと助け合いが大切です。発行に当たっては『きずな』と命名した心と期待をしっかりと受け止めていきたいと思います。

編集後記

前広報部会の皆様ご苦労様でした。今後、新しい広報委員会メンバーで広報誌「きずな」の発行に携わることになりました。

70代半ばまで広報活動の経験がなく、編集、記事依頼、出版社と打ち合わせなどすべて未経験で戸惑っております。夏休み、引き継ぎの遅れ、メンバー選びなどで次々と後手に回りやっと「きずな」Ｖｏｌ．24号の発行ができました。

これまでと同様に市内の企業の方々にシルバー人材センターを知っていただき、会員と事務局の連携を深めて親しみやすく読んで頂ける「きずな」を目ざしてまいります。皆様のご協力をお願い致します。

表紙の写真

今号から本誌の表紙も趣を変えています。今年８月下旬、筑波山に登った帰り道、目に映ったのが蒼空を大きく翔ける雲と黄色に色づいた稲穂です。猛暑が続く最中、秋近しを感じさせたその時でした。

◆きずな原稿募集

「きずな」の原稿を随時募集しています。就業先での出来事や体験談、身近な出来事等々、お待ちしています。些少ではありますが執筆謝礼をご用意いたします。

発行元　編集企画広報部会　〒300-3257 つくば市筑穂 1-10-4（大穂庁舎内）
TEL 029-879-5199　FAX 029-879-5198　http://www.tsukuba-sc.com